

最先端の素材と匠の技術が光る下町ロッド工場

「釣竿製造技術」

私達は60年にわたり
釣竿作りをして
います

現在は20社を
超える釣り具
メーカーさんから
まで一貫して
請け負つて
います！
自社製造で
OEM
を設計から納品
まで一貫して
請け負つて
います！

(注1)相手先ブランド製品の製造

鈴木隆社長

株式会社リチャーズ

作風来

同じ大きさの鉄と比べても
カーボンファイバーの
重さは鉄の4分の1！
強度は約10倍！ (注2)

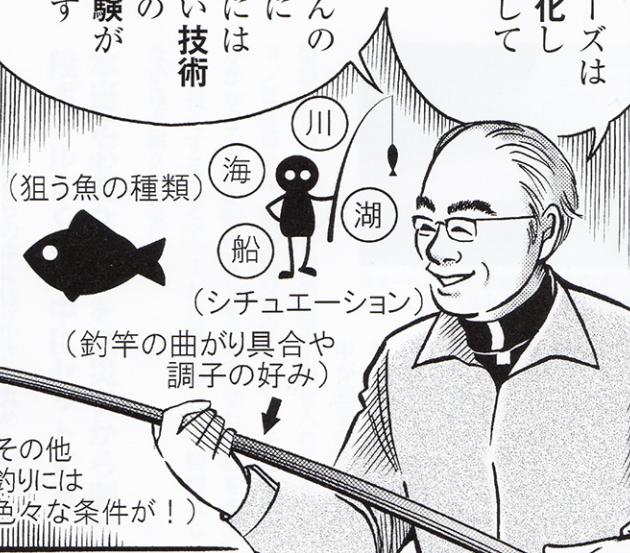


35年程前から釣竿の素材は「カーボン
ファイバー（炭素繊維）」が主流となっている

カーボンファイバー製釣竿
「カーボンロッド」は軽量で
高い強度と弾性を持ち
耐熱耐寒・安定性にも優れる

各メーカーさんの
細かなご希望に
確実に応えるには
釣竿製造の高い技術
と、素材加工の
深い知識と経験が
必要とされます

釣りの市場ニーズは
どんどん細分化し
ハイレベル化して
います



カーボンロッドの性質を活かす為には50種ほどもあるカーボン素材の中から適正なものを選び組み合わせることが重要です！

シート状のカーボン素材(質・柄など色々ある)から釣竿は作られます

素材の設定や組み合わせ
ロッドのデザイン
設計などなど…
私が担当しています！



まさに
手仕事
匠の技術
現場です

立石慶次工場長

(注3)こちらの製造工程はあまかん流れとなります

多種あるカーボン
シートの中から指定の物を
取り出し設計図通り
正確にカットします

素材の裁断

機械を使い裁断する場合もあります

それではここから釣竿完成までの製造工程をざつとご紹介しましょう！

釣竿の素材となるカーボンシートは、温度によって影響をうけるので巻いた状態で冷蔵庫で保管します。

※浸して含ませた状態のこと

冷蔵庫内で常時40~50種揃えて保管



「こんな調子の竿で…」といった抽象的な希望を豊富な経験を元に細部にわたってカスタマイズし設計図を起こします

オープンで 焼成

高温温風循環炉（オープン）の中に吊り下げる
加熱します。オープンはこんなに高い！
3メートル近い竿も中に納まります



成型用テープでさらに圧をかけながら巻きあげた後

芯金（マンドレル）へ巻き付け

こちらが硬い鉄製の芯金（マンドレル）です
太さ・形・長さなど多くの種類を揃えていて
製造する釣竿により使い分けています



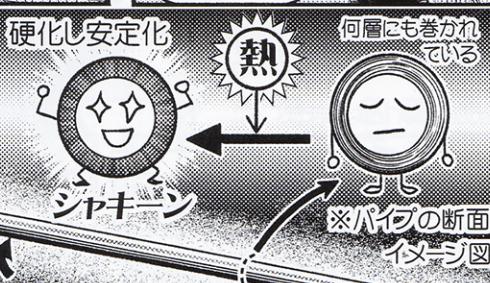
(注4) 穂先が細く元が太くなる勾配（テーパー）によって竿の調子が異なる

芯金に先ほど裁断したカーボンシートを複数枚巻き付けます



丁寧に手作業で下準備した後専用の機械を使い細い～太い部分すべてに均等の圧力をかけてしつかりと巻きます！

焼成時間や
温度調節も
長年蓄積した
データと経験に基づきます



素材のカーボンシートに含まれた樹脂が加熱され
熱で硬化して安定した質の硬いパイプ（ブランクス）になります

釣竿のベースとなる
硬化したパイプをブランクスといいます

接合部の研磨

ピタリと嵌まるよう
嵌合部分を100分の
1ミリ単位で調整しながら
研磨し仕上げます

釣竿は継いで
使うので…

脱芯とカット

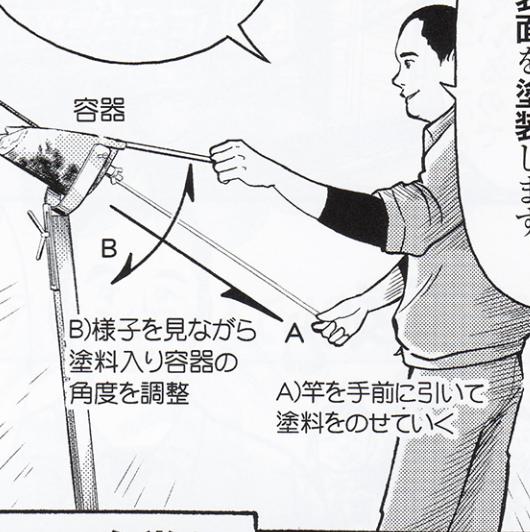
冷却後、芯金を抜いたら
機械を使い決められた長さに
ブランクスをカットします



ブランクス両端を同時に切断できる
専用切断機

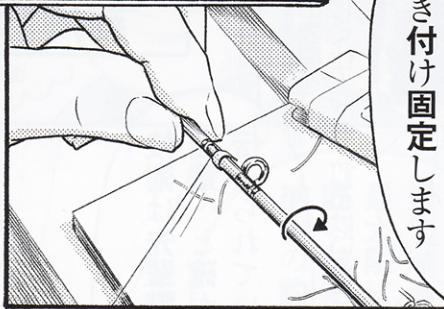
塗装

釣竿はシゴキという独特な方法で表面を塗装します



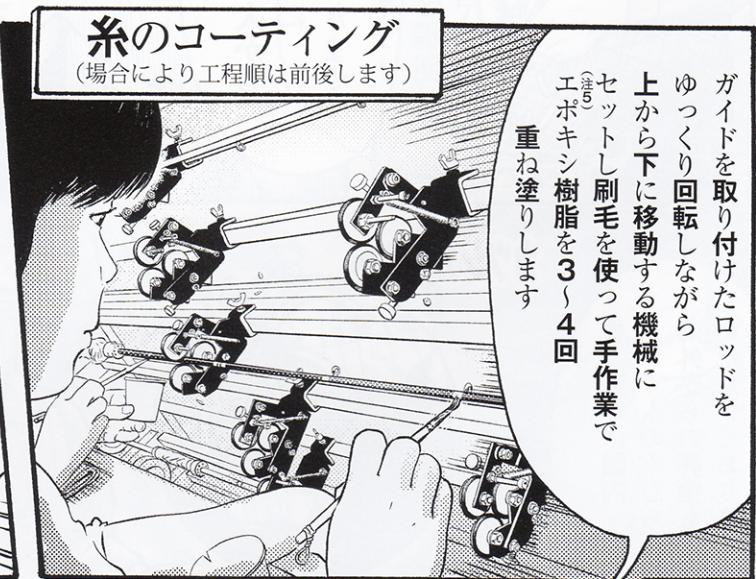
ガイド仮止め、糸巻き

機械にセットし
ガイドを仮止めした後
手作業で専用糸を
巻き付け固定します



回転スピードを足の
ダルで微妙に調整
しながら不要な糸を
素早くハサミでカット！
大変繊細な熟練職人の
技術です

コートティングは手感覚で塗りの厚さ調整を行う作業ですが、メーカーさんからムラやミス等のクレームがきた事はほとんどありません！



(注5)接着剤や塗料として使われる樹脂の一種

組み立て

最後にグリップ部分や各種パーツ類をブランクスに接着し仕上げます

最終検査

細部を検品し実際に振つてガタつきも確認します

社内一貫で製造しているので大変厳しいトータルチェックになります

(株)リチャーズの
厳しい検査はメーカー
各社様より広く
信頼を得ています

任せて安心



鈴木隆社長

こうして職人達の
高い技術と繊細な手作業
から釣竿が完成します

販売場

技術は先輩職人から
後輩へと確かに
伝えられていきます…



50年! 現場で
働いている職人さんです

カツシカから… 世界へ!

また近年は国内
メーカーのみならず
海外からの評価も
いただいております!

丁寧な手作業と
社内一貫製造で請け負う
(株)リチャーズは
小ロットのご依頼にも
対応しています

SUZUKI Banks

Carefully Made in Tokyo, Japan

得意のカーボン加工技術を
活かしたブランクスを
「スズキブランクス」という
オリジナルブランドとして
海外にむけて販売

世界基準をベースにしたアクションで40アイテム

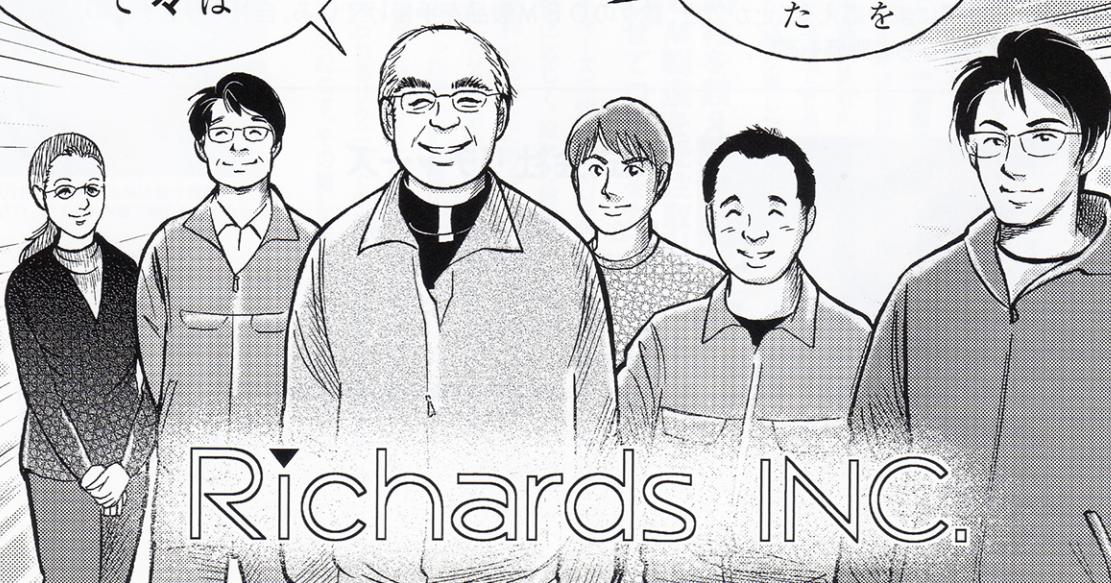
弊社ホームページも
英語に対応しており
各国から直接の
お問い合わせが多く
なっています

お問い合わせ
鈴木社長は大学
時代をアメリカで
過ごし海外知人も
多く、語学も堪能

海外では釣竿の仕上げ
を自分で行う文化があり
スズキブランクスは
高品質のベース竿として
年々海外ユーザーを
増やしています

最先端素材の良さを
最大限に引き出し
匠の技術を駆使した
納得の釣竿を！

(株)リチャーズは
これからも日々
皆様に提供して
まいります



Richards INC.